





旬間録音

本旬間の注目すべき大きな動きは農民組合の結成と農業支部の要求提出である。しかも農民組合と農業支部の問題は封建的殘滓を一掃に一脈相通する所があり農村問題の根本的解決策として今後のその発展性は充分なる注目を要するものがある。

農民組合の誕生  
草野村では去る三日國民學校で自作及小作農約百名が農民組合を結成、折笠藤雄氏を座長に、△土地の關買に反對強制調印に應じないこと △耕作權の尊重及侵害防止 △小作料平均三割引下げ △農家保有米は米二合八勺にも拘はらず現在二合五勺なのでその差の行方を追及することを申合せたが八日には全村民大會を開き草野勤勞農民同盟を結成他町村にも呼びかけ完遂に邁進する事を決議した。今月中には夏井、大野、大浦、高久、鹿島、磐崎、上下小川等に陸續として農民組合が結成される。農業支部要求提出  
農業會石城支部職員卅七名(次長課長を除く)は待遇

改善と支部民主化のため十日石城郡支部職員會を結成、十四日連名で人事並に支部運營の民主化を圖り、課長會議に職員會選出代表參加の認可、給料三倍増額外九項目に互る嘆願書を縣農業會に提出した。湯本礦務組要求提出  
常磐炭礦湯本礦務組は十日湯本礦務組を結成待過改善その他の要求事項を決議して會社側に提出した。

赤井礦山要求提出  
石城郡赤井村常磐礦山勞働組合赤井第二支部ではさき待過改善に關する十二項目要求を日曹赤井礦務所に提出内十項目の要求承認の回答を得たが十四日更に追加案として勞働時間七時間制扶養家族一人月額卅圓支給外十一項目に互る要求書を提出した。大野村長村議總辭職  
福島縣石城郡大野村長木田織江氏は舊職軍需物資の隠匿の嫌疑で進駐軍に土藏内の檢索をうけたので不徳のいたすところと辭意を表明全村議も責任を感じ去る四日連袂總辭職した。鹿島村に海外協會  
石城郡鹿島村の志賀哉氏が

主唱で「海外協會」を設立機關紙「海外」を發行する。勿來に新製鹽工場  
福島縣石城郡上遠野村出身小澤專七郎氏(三)は資本金二千万圓で日本製鹽會社を創立、勿來町關田寺下海岸に工場建築工事を開始この製鹽工場は電氣冷凍式で日産十トンの鹽と三百トンの凍水採取する。

現職警官の  
農業會倉庫破り  
石城郡草野村出身自稱神奈川縣警備隊員巡查磯貝政利(三)は去る九日午前零時頃郷里の農業倉庫から玄米十五俵を盗みトラックで東京方面に逃走せんとして平署に檢擧された犯人は現職警官である。

魚加工場全焼  
福島縣石城郡四ツ倉町本町精米並に魚加工業根本金七(五)氏所有の同町頭地内の魚加工場から十日午後三時四十分頃發火同工場七棟を全焼、損害十萬圓原因は取灰の不始末。  
進駐軍技術指導  
福島進駐軍々政部キング大尉外十名は七日好間の古河炭礦赤井、隅田川、小田の各炭礦にて坑内の技術指導を行つた。

若人の集、毒會ではその綱領に基き文化の各分野に互り郷土の礎石たらんとして活動を開始してゐるが今回次のやうな二つの催を持つた。  
◇レコードコンサート  
一月十三日午後一時からマールモホールにて開催入場者百五十餘名、街の喧騒をよそに楽しい音律陶酔の一時を過したが次回からは「希望コンサート」の形にして續行することを意氣込んでゐる。この芽生えたる毒に光と肥料を是非充分に與へたいものだ」とは當日の或有志のお話だつた。

新らしき文化の息吹

毒會のレコードコンサートと座談會

毒に因み例によつて十五日午後六時より南町大森會長宅にて渡邊村に歸農中の農民文化研究の權威上泉秀信氏を圍んで座談會を催した。會員約二十名の他上田大嶺、酒井等の有志出席、常任幹事吉澤氏の司會にて先づ上泉氏から「民主主義」に就いての話があり、引き續き「日本の」なる語の再檢討各國の民主主義に對する概念の相違等について論じ、天皇制問題については論議最高潮に達し意見の沸騰を見せたが最後は上泉氏一流の農民文學論で和やかに十時半散會。

終つて過日提案された毒會の組織化について幹事の會合があり總務部の下に文化生活、厚生、婦人の四部を設け各部の委員を決定、今後は一段と激進たる文化の蔓を延ばすことになつた。  
新日本建設同志會  
協 議  
中村月城氏主宰の新日本建設同志會では十三日マールモホールに協同會を開き、會報の發行、毎月第二日禮例會を開くこと生活上の問題で解決し得る事項は即時實行に移すこと三ヶ條を決議した。

### 逆効果露呈

#### 農地調整法是非

第八十九議會を通過し近く實施されようとしてゐる農地調整法案は必ずしも該法案の期待するが如き小作農の自作農化助成といふ結果を生み出すて却つて保護されるべき小作農が次のやうに耕作地を引き上げられる危険にさらされて不安動搖の姿を露呈してゐる。

地一 大地主の一部には法案主一 實施を前に兄弟縁者等に合法的に分家の形式を以て五町歩位宛配分してゐる者があり、甚しきは開墾家や中地主悪ブローカー等と結託して小作人に強制調印を求めてその同意を迫り、反あたり公定七八百圓位の所を三千圓から七千圓位の法外な關値で轉賣してをり、不在地主の一部は食糧事情急迫の折柄給料取生活を切り上げて歸農し小作地をとりあげて自作農とならうとする傾向があり、しかもこの場合は調印を必要としなだけで小作人の立場は著しく不利である。かくて小作人側は調停裁判を仰がねば永年自分が耕作してゐた土地から離れねばならぬといふ状態に迄追ひ込まれてゐる。

自作農の中には從來自作分が二町歩内外の耕地を所有してゐるにも拘らず此機會を捉へて中地主とならうとして觸手をのばし大地主と結託して土地を買ひ漁つて五町歩以内の地主とならうとしてゐる者もある。

小作人は是等の餘波を受け、耕作地ほしさから供出

米を横流しして金を作ったり、借金して迄金を作つて地主から關値で土地を買ひ取らざるを得ぬ實狀も見え、更らに農民同盟による小作料引下げ運動は小中地主を不安におとし入れ正常ならざる土地異動に一層の拍車をかけ、増産目的の農地調整法が却つて非生産的の傾向ではなにかと思はれるが、農民同盟の活動が要望されてゐる。

### 矢郷炭礦の要求貫徹

#### ●●●職員組合の烽火●●●

内郷町白水の澤矢郷炭礦(舊神奈川炭礦)では戦時中の劣悪な労働條件に悩んでゐた従業員一同が舊職來日本共産黨常盤地區委員會の後援を受けて、矢郷炭礦労働組合を結成し、矢郷社長に肝入りで出來た御用團體たる共榮會を排撃し、各職場の下からの要求條目を取上げ、全員結束して、一月八日矢郷社長に對し左の如き要求書を提出した。

一、労働組合並に団体協約權の承認

一、最低賃銀制の確立

坑内夫最低 二ヶ月

機械夫 一五圓

坑外夫 一〇圓

撰炭夫 五圓

一、労働八時間制の確立

一、配給物資の労働組合委員の管理參加

等十七項目に亘る待遇設備改善に就いて

之に對し矢郷社長は經營赤字を稱へて速答を與へず極力回避の態度に出たので交渉委員並にその全權の委任を受けた日本共産黨中央委員候補者春日正一氏及福島地方委員箱崎滿壽雄氏

### 革正派に凱歌

#### 久ノ濱漁業會長 新妻 氏に

久ノ濱漁業會は昨年九月會長代行理事佐々木系平氏のカジメ不當販賣に端を發し會員間の紛擾となり、佐々木氏は遂に十二月十五日知事より解任處分を受けるに至つたので去る十五日に臨時總會を開催した。かねて會の根本的改革を叫んで或は町民大會を開き或は文

### 日用品交換所

#### 愈々店開き

かねて本紙に報導しておいた縣物資更生協會主催の日用品交換所が愈々來月一日から三丁目中や洋品店で開かれる。受付は土日祭を除き毎日とし交換日は毎週土曜日の午後に行ふ。取扱品は各種日用品(他食糧品(米麥雜穀薯類を除く)酒醬油は一升味噌一貫及青果物一貫以内

は、労働者生活の窮乏困憊、石炭増産の國家的緊要性を説き粘りに粘つた擧句、遂に矢郷社長も全面的に承認する旨を申出した。交渉時間午前七時より午後六時半にわたる前後十二時間、遂に解決を見るに到つた。一方此れに刺戟されて別箇に組合を畫策中であつた職員側は直ちに職員部として労働組合に合流賃金待遇設備の改善向上の要求を提出し、これ亦十六日に到り、社長側の全面的承認を得、要求貫徹に勝利の凱歌を擧げたが、職員各炭礦に大きな波紋を與へるものとして注目される。

書を以て會員に訴へ、根強く佐々木氏再選運動を排撃しつゝあつた高木好之助橋本宇三郎木村善五郎遠藤興平根本清三郎大内福松木村貞助新妻清一郎氏等の革正派は新妻雄一氏を新會長に推して決戦を挑んだので總會は開會と同時に不氣味な空氣の中に波瀾を予想せられ、先づ革正派の高木橋本兩氏が起つて佐々木氏彈劾の聲明書を朗讀決戦當票を要求し、投票の結果九票の差を以て新會長に革正派の新妻雄一氏が當選した。

氏は久ノ濱漁業會の長老であつて本年六十六歳町會議員四期消防組頭十一ヶ年を勤続町民の信望厚く今後の會の改革と明朗化を期待されてゐる。

### 豫算追加案可決

#### 平市臨時市會

平市臨時市會は十五日午後一時から日本間に開催、市側より市長、助役、参事員等九名、市會側より萩原議長以下二十二名(八名缺席)が出席、定刻伊藤市長の報告(戦災対策)があり、次で議事日程に入り、一万二千九百六十四圓の追加予算(自動車庫庫建築費、選舉關係費その他)並に臨時予算三千九百圓(第二國民學校講堂電燈費)を無修正可決し、議事を終り一般施政に付活潑な質疑應答があり午後三時二十分閉會した

### 物資の公正配分

#### 常磐炭礦の試み

常磐炭礦では物資配分の公正を期するため監督機關として地區執行委員會、配分量決定のための政治機關として中央執行委員會を持つことになった。地區執行委員會は各配給所單位に隣組長を以つて組織し、中央執行委員會は地區委員會から選出し坑内坑外職員勞務者を以て構成配給を掌る資材課長等と配給物資の量等を協議するものである

### 共産黨員に聴く會

所謂「喰はず嫌ひ」の感ある共産主義を眞の共産黨員から聴かうと本社では日本共産黨中央委員候補春日正一氏(神奈川県より立候補

### 縣民歌發表演奏會

来る廿七日(日)午後一時から警女講堂で福島音樂協會主催の一縣民に贈る縣民歌發表演奏會が行はれる、縣民歌は「曉に祈るの」作者及作曲家野村俊夫、古關裕而兩氏の手に成つたもので福島郡山白河等で既に發表會があり、歌ひ手には郷土出身の根本恒子嬢も参加し

### 副議長は誰に

#### 噂に上る人々

平市會副議長は舊職草野七五三之助氏逝去の後、後任として目下噂に上つてゐるのは松本徳一氏、永山勇吉氏、小野金太郎氏の三氏で豫定)並に福島地方委員箱崎滿壽雄氏を招き十四日午後六時より本社編輯室に共産黨員を圍む會を開催した。會のメンバーから龜山正邦君以下十名出席、天皇制の問題、資本家の本質、配給機構の問題、プロレタリアートの自由、人民解放の本質、その他に付て互に活潑な論議を取り交し、盛會裡に午後九時三十分閉會した

### 平市の東亞聯盟

關係者は皆無

てを。會員券は本社でも前買してゐるが賣上代金は戦災者に贈ることになつてゐる

去る四日のマツカーサー司令に依る解散廿七團體中平市内に支部のあつたのはやまとむすび社だけで永山勇吉氏は東亞聯盟には全然關係なく、氏は舊振東社に關係があつたがこの振東社は十七年解散になりその後在京有志が三田村武夫氏を中心に東方同志會といふ文化團體を組織してゐたが平市の舊振東社關係の同志には全然參加者がなかつたといふことである

### 讀者課題募集

讀者から次號には誰を紹介せよとか、何に就いて記事を作れとか注文を出して下さい。その場合その具体的方法迄明示して下さい。編輯所へ直接届けて下さつて宜敷うございます

### 古軍靴の波紋

前號の「古軍靴の行方」に就いて十五日の市會で問題になつたといふので別項の如き市會の辯明を掲載しておく。本紙の性格は第一號及二號を熟讀する事に依つて諒解されるべきである。本紙にはいろいろの人が市民の聲を替へるために

### 高壓線

#### 特配糯米について

一般に糯米は特有の臘白色を呈してゐるが乾燥不充分の場合は専門家でさへ誤認する位糯米と區別がつかぬものである。しかし兩者はその澱粉構成を異にしてゐますから(糯米は眞の澱粉ではなくアミロアキストリン)沃度に対する着色反應(藍色)で識別できます。反應が急速顯著であるのが糯米です。また兩者は灰像(燃エタ時ノ形)を異にしますから小量を炒鍋で燃つてみてわかります。お正月の特配は營團が會津の農家に特に協力を願つて貰つたもので糯米に調製検査して貰つたもので糯米たる事に間違ひありません。配給前に諒解を得ておかなかつた結果一部に誤解を生んだので此點お詫言ひ申し上げます(食糧營團平出張所 安島)

外科 内科  
松村 醫院  
平市白銀町一〇  
電話一〇七番



人物 岡田吉光氏

石城地方事務所長

石城地方事務所長の岡田吉光氏は自分にとつて全くの初対面である。前号に紹介する予定であつたが大野村の村長辭職問題で出張中であつた。十四日午前十時過ぎやつと面會の機を得た。元の林産物検査所の二階の一室に東向に陣取つた岡田さんの前に行つてビョコンと頭を下げて來意を告げると岡田さんは少し固い表情をした。しかし火鉢の側に歩み寄つて對談する頃にはさうな丸いつや／＼とした顔に笑を湛へてゐた。先づ経歴を口を切る。滑らかな口調で御自分の経歴をそれからそれへと披露され、晝食近く迄ほとんどお一人で説き去り説き來つてこちらで質問を發する餘地さへない程だつた。流石に本省や愛知等に長く在任してゐただけに服装もきちんとしてをれば應接の態度も上品で感がいい。田舎のお役人といふスタイルではない。世間の評判の好いのも當然だと思つた。ただ惡くい

ふ人は本省や愛知に長くとつた事がある。その間日大の夜學に行つて法律を勉強將來を期してゐた。昭和十二年に栃木縣に轉出地方課長や庶務課長をつとめ、十三年七月愛知縣の社會課長となり、十五年には同縣地方課長となつて地方税改正や地方事務所新設のため大いに努力し、その後官房主事兼人事課長となり昨二十年七月空襲激化を辿る名古屋市をあとに、平市が市長問題でつゞき伊藤初代所長がはからずも元の古巣に市長となつた後を受けて石城地方事務所長となつたのである。かうしたピカ／＼光る履歴を持つてゐるから落着いても居るし、偉らぶるやうにも思はれ勝ちである。然しそれは單なる七人あり、教育畑が多く弁護士をやつてゐる方もあるといふ。家庭は妻君に初等科に行つてゐる男子が一人あるきり住宅の關係で川前に住まつてゐる。當年とつて四十九歳、趣味は養生流の謠曲で四五番あげてゐるといふ。本郡に來ての感想はときいて見たら

「女の美しさは從順に在る故に女はこれを失つてはいけぬ。然しそれは單なる從順さではない、強い信念を持つた自主的なものでなければいけない」と新しい女性について語る大和田智恵子嬢は平市南町醫師大和田郡司氏の長女は磐女を経て帝國女子醫專で耳鼻咽喉を専攻した二十五才の女醫である

女醫となつた動機は小學校時代より聖野口英世を敬慕したため

この。東北といふから土地のやせた人情の厚い所と思つて來たが來て見るに何もかも關東と違ひはない。町村長の言動にも優秀な所が見える。唯一郡で官選町村長が一時に三つもあつたのは珍らしいやうだ。川部、小名濱、大野も採んでゐる。地方事務所

新女性紹介 大和田智恵子嬢

偉大なる女性の力 何人も之を否定する譯には行かない。特に若い女性の新生日本の文化に對する自主的な熱心な考察と行動、これを培養し眞の女性の姿を完成させなければならぬ。その爲には教育が必要である

あると云ふ。爾來専ら女醫街道を歩み續けられた。 「女性には家庭を離れては存在しない。その家庭に文化を溶し込むことが新しい女性の任務である」と文化に對する女性の立場を鮮明にしてゐる

若い女性は互に文化的交渉面をより多く持たなければならぬ。と云ふのが彼女的主張である

地方文化を一部のものに限定することなく廣く全磐城の人々に呼び掛ける必要性を痛感してゐる。本社ではこの点に關し充分なる努力を拂ふ考である

未だ文化的考察淺く性格的に弱い所があるが當地に根を下して地方文化のために積極的に活動すると云ふ彼女に關してはその行方如何に依り地方文化の女性指導者として期待し得るものがある

労働組合と民主主義

日野利春

民主主義の母体は労働組合と農民組合である。云はれてゐる。欧米に於て数十年かゝつた歴史的過程を、短日月の中に急速に進行しつゝある現在の日本の状態に於ては、民主主義は組織された民衆の間から(労働組合と農民組合)の間から急速に成長しなければならぬ。組織された民衆こそ民主主義の第一實踐者でありその源泉をなすものである。

民主主義とは、労働大衆が、自分を統一し組織化して、自分の責任に於て、自分が政治をやる事である。民衆のための民衆の政治である。今迄「政治家」にまかせてゐた政治を民衆の手にとりもどすことである。

労働大衆は、自ら政治的主観的見解を持ち、自分が政治の主体である事を知る事が出来るだらうか。長い間の封建的な奴隷根性がなかくぬけず、自主的な意志を持つ事をさまたげてゐる。しかし労働者は、労働組合に入り、その中に於ける組織的訓練によつて、始めて奴隷根性をすて、立派な自主的な行動をする事を覚えるのである。労働者は先づ、自分が社會の全生産面に於ける重大な位置と社會の基礎的な部分である事に自覚しなければならぬ。これが民主主義の第一條件である。

労働組合は労働者の學校である。労働組合に入り、その團体的、社會的行動によつて、労働者は、一歩一歩自分の社會的任務の重大性を知らると同時に、自主的な民主主義の何であるかを知らせて來るのである。利己的に分散してゐる都市の小市民や、未組織の大衆を引きつづいて先頭に立つて民主主義を實踐するものは組合をもつた労働者である。民主主義の行動は凡て組織の中で行はれるものであり、また組織の意味を最大に尊重するものであると云へるのである。

此の意味に於て労働組合は先づ生活権を強力に要求する。労働者の生活が安定し、生産が民主化されるこ

とがあらゆる増産の第一條件なのである。労働者の生活が向上し、その奴隷的地位から解放されるに従つて、労働者は自分の生産面に於ける責任を知つて來るのである。そのために、賃金の増額、手當の増加、労働年金、健康保険の資本家の負擔による確立、労働時間の合理化、配給品の組合管理非民主的職員の追放等を要求してゐる。

しかし労働組合の目標はたゞ待遇の改善に留るべきではない。崩壊した産業の建設と、民主主義日本の成長に重大な責任を有するものである。

現在、日本の經濟状態は完全に破壊されたまゝであり、全生産が殆ど休止の状態にある平和産業への轉換は遅々として進まず、資本家は、放心状態のまま、生産をサボつてゐる、このまゝで行つたならば、今年後半期に於ける日本の状態は實に怖るべきものとならう。現在吾々の直面してゐる現實は、一般に莫然と理解されてゐるよりも遙に危険な状態なのである。吾々はその事實を直視しなければならぬ。甘く考へてゐては

いけないのだ。吾々は將にインフレーションと混乱と餓死の恐るべき前夜にあるのである、生活費は一日毎に上り、しかも大衆の貯金は底をついてゐる。主食品は絶對に足りない、日本大衆は斷崖の一步前に立つてゐるのである。

此等の問題は、技術的、藝術的、インフレーション、一時的な賃金値上げで解決されるものではない、総合的な經濟の再建、平和産業の全面的復活による以外にはない。

しかし、この生産力再建の任務と力は誰にあるのか。資本家は既に全く生産意欲を失つてゐる。自己資本の増加のみ考へてゐる人々にと

つて生産の社會的意味を理解する事は不可能である。全日本大衆が餓死することも彼等は危険のある事業(生産)はしたくないのである。一日、一時間をも争ふ此の生産力復活の問題は、労働組合に與へられた偉大な歴史的使命である。吾々は組合の生産管理により、或は休止工場の國營化等によつて、あくまで平和産業の復興のために闘ふべきである。それこそ全日本大衆を餓餓から救ふ途である。労働組合は自分の奴隷的位置を改革する途上に於て、社會主義的生產力増大の大きな任務を持つものである。組合の指導者は此の事を充分認識しなければならぬ。

磐城文化協會の動き

事務局會議  
一月十五日午後六時半から  
磐城春秋編輯室にて開催、  
主として廿七日磐城女講堂に  
て行はれる「縣民歌發表演  
奏會」に就いて文協として  
協力すべき具体事項を協  
議、九時半散會。

新時代を生み出す來るべき  
衆議院議員の總選舉には本  
社は磐城文化協會と共同に  
候補者の合同政見發表會  
を開催する計畫あり

